
社内チャリティベーキング活動「Take a Piece」 「世界の医療団」へ86,607円を寄付

医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:岩崎博之)は、社内チャリティーベーキング活動である「Take a Piece」における社員からの募金総額86,607円を「世界の医療団」へ寄付いたしましたことお知らせします。

【 概 要 】

当社は医療や健康分野での革新的な活動を通じ、生活者のメリット創出への貢献を目指しています。「世界の医療団」への寄付は、全ての生活者が充実した医療を享受できる社会の実現に寄与することを目的としております。

この取り組みは、お菓子作りを趣味とする役員が作ったお菓子を社内で販売し、その全売上を寄付するものです。お菓子の販売は毎週月曜日を予定しており、販売といっても金額は決まっておらず、社員は自分の気持ちの分だけを払います。季節やイベントに沿ったメニューで、2ダースほどのクッキーやカップケーキが5分で完売してしまうなど、社員に好評の取り組みです。

今回は、2014年1月14日～12月8日までに実施され、社員から寄せられた募金総額86,607円を寄付いたします。

【 実 施 期 間 】 2014年1月14日～12月8日

【 贈 呈 先 】 世界の医療団

【 寄 付 金 額 】 86,607円

【今後の寄付予定】 「Take a Piece」含め、社員の有志による恒常的な寄付活動を行っていく予定です。

「世界の医療団」(<http://www.mdm.or.jp>)について



世界の医療団

「世界の医療団」は、1980年にパリで発足した人道医療支援に取り組む国際NGOです。医療・保健衛生分野の専門スタッフを世界各地に派遣し、非常事態に対応する緊急支援だけでなく、復旧支援までの長期的な活動に取り組んでいます。1995年には「世界の医療団日本」が発足し、ホームレス状態にある人々の支援活動や東日本大震災被災地支援活動など、日本国内外で様々な人道医療支援活動を行っています。